

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

児島八十八カ所・藤戸寺の道しるべ



19世紀前半、吉塔寺（倉敷市児島柳田町）の住職円明は、四国八十八カ所に倣い児島地域に霊場を開くことを決意する。円明は、4年の歳月をかけて札所となる寺を定め、札所や分かれ道に道標を建て、児島八十八カ所を完成させたという。幕末から明治にかけて巡礼者が盛んに行き来した。

その第四十六番の札所は、藤戸合戦で先陣の功をたてた源氏の武将、佐々木盛綱ゆかりの藤戸寺（同市藤戸）である。児島・倉敷間の主要地方道から分かれて寺に行く参道入り口に、藤戸寺の寺号を刻んだ高さ185cmほどの石標が立っている。

正面（北）には、近江源氏佐々木の紋所である四ツ目の紋所と「藤戸寺」の文字、西には札所番、東には「慶應四戊辰年」（1868年）と再建の年が刻まれている。裏面には「此方西方寺十五丁半」と次の四十七番札所西方寺（同市串田）への方角と距離が示されている。

このみごとな道標を頼りに、巡礼者は次の札所を目指したのである。

【参考文献】

- 『児島八十八ヶ所霊場』伊東忠志／著 観音院 1981
- 『岡山の道しるべ』巖津政右衛門／著 日本文教出版（岡山文庫70）1976



「世界お話の旅」を振り返って

岡山県総合文化センターでは、平成8年度から、「世界お話の旅」という講座を年に3回実施しています。これは、外国語の絵本や外国人講師の話などを通して異文化に接することで、子どもたちが外国の文化・言葉や本への関心を高め、自然に国際交流できる生活態度を培うことを目的としたものです。

1回の講座（1時間30分）で一つの国を取り上げ、講師に母国の文化・遊び・歌・民話などを紹介してもらっています。あわせて、当センターに所蔵している外国語絵本の展示も行っています。今までの6年間で取り上げた国は、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、ポルトガル、中国、タイ、韓国、フィリピン、ブラジル、オーストラリア、ニュージーランド、カナダの14カ国になります。参加対象は、主に小学生とその保護者ですが、もう少し幼いお子様でも楽しんでいただけるかと思えます。

最近、もっとも好評だったのは「オーストラリア」編でしょうか。クリスマスが近かったので、色紙で折ったサンタクロースのついたクリスマスカードをつくりました。色とりどりのサンタの服から英語での色の言い方を練習しました。また、色と関連して虹の歌を歌い、虹の絵本を読みました。このときは子どもたちと講師

* 平成12年11月25日(土)開催 *



「オーストラリア」編より：
みんなでクリスマスカードづくり

* 平成13年7月28日(土)開催 *



「フィリピン」編より：
講師によるフィリピン紹介

が楽しくふれあうことができ、高い評価をいただきました。

常に良いものを目指していますが、読み聞かせや子どもとのふれあいに興味のある外国人講師を見つけるのがなかなか難しい、各国の出版事情もありその国の絵本や資料をそろえるのに制約のある場合が多い、などの問題点を抱えているのも実状です。しかし、この「世界お話の旅」が子どもたちの国際理解の一助になればと願いつつ、今後も続けていこうと考えています。

学校週休2日制に伴い、地域社会での休日の過ごし方が議論されている今日ですが、外国の絵本や講師の話を通して、外国を身近に感じ、その国を好きになるという経験の場を提供するのも、一つの社会教育ではと思います。

来年度は、パキスタン、中国、イギリス出身の講師を迎えて、「世界お話の旅」を開催する予定です。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

(岡山県総合文化センター 奉仕課 国際資料係)

おかやま人物往来 ⑥⑥

池田由之

池田由之は天正5年（1577年）に尾張国の犬山に生まれる。父は紀伊守之助である。

父、之助は天正12年（1584年）の小牧・長久手の戦いで池田信輝（之助の父）とともに戦死する。之助戦死の時に、嫡男由之は8歳であった。池田家の家督は父、之助の弟輝政が相続することになる。しかし、由之は本来池田家の嫡流であった。

輝政の引き立てもあって、由之は慶長6年（1601年）には2万2千石を賜り、慶長12年に駿河御普請役を勤めた際に、徳川家康から馬を拝領している。慶長14年には、加増されて3万2千石となり、備前下津井に在城する。慶長18年に池田輝政が死に、嫡男利隆が家督を継いだことにより、下津井から明石へ移る。元和2年（1616年）に利隆が死に、嫡男光政が家督を継ぐが、元和3年に因幡伯耆へ国替えとなる。由之も明石から米子城に入ることになる。

元和2年には、利隆のみならず筆頭家老の伊木忠繁も死んでおり、幼い光政を補佐できる者は由之以外にはいなかった。由之は、伊木氏に次ぐ家老でもあったため、元和2年から4年にかけて由之が藩政の中心であった。

元和4年、由之は大小姓神戸平兵衛の恨みをかき、江戸から国元へ帰る途中で刺殺される。

由之の死に伴い、嫡男由成が知行3万2千石を相続する。由成は、由之と徳島藩主蜂須賀家政の娘との間に生まれた。由成は、父由之の後を継いで光政の許で家老となる。光政が備前に国替えになった時に、天城陣屋を任されたのは由成であった。

由之の次子由英は、徳島藩家老となる。蜂須賀

家政の子至鎮が若死したため、家政の孫、至鎮の子である忠英が家督を継ぎ、家政は後見役を幕府から命ぜられる。家政は外孫由英に忠英を補佐させる。由英は、初め池田氏であったが、蜂須賀氏を名乗ることを許された。蜂須賀山城とも呼ばれる。

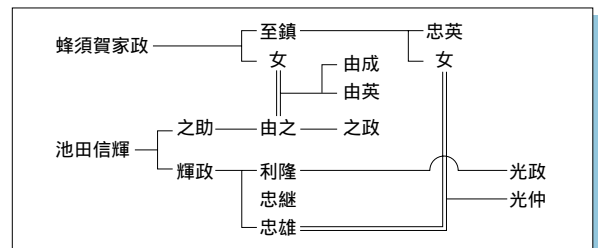
由之の第四子之政は、鳥取池田家の家老になる。之政は元和3年米子に生まれ、兄由成とともに光政に従って寛永9年に備前へ移る。若くして畿内を遊歴していたが、正保元年（1644年）に鳥取藩主池田光仲に招かれ、光仲に仕えることになる。

池田光仲は幼くして池田光政との国替えで鳥取へ移るが、光仲の鳥取池田家では池田輝政の母の実家である荒尾氏の力が強く、他の家老たちも池田家一門ではなかった。このような状況下で光仲が、池田家の嫡流である之政を招いたのは、他の家老たちとの力の均等を意図したためだと考えられる。之政の母は蜂須賀家政の娘かどうかははっきりしないが、光仲の母が蜂須賀至鎮の娘であることは見逃せない事実である。

このように、池田由之の子息3人は、岡山、鳥取、徳島の各藩で家老となったのである。

参考文献としては、次のようなものがある。

「因州藩鳥取池田家の成立」（河手龍海著 鳥取市教育福祉振興会 昭和56年）「寛政重修諸家譜」（続群書類従完成会）「国史大辞典」（吉川弘文館）「池田光政公伝」（石坂善次郎編輯）「池田家履歴略記」（日本文教出版株式会社）「鳥取藩史」（鳥取県立鳥取図書館 昭和44年）



当館の参考図書 ①20

「日本カエル図鑑 改訂版」
（前田憲男・松井正文共著 1999.6 文一総合出版）

古来より絵画や詩歌、昔話、童謡などでおなじみのカエルだが、近年世界的な規模で減少しているという。日本でも8種のカエルが絶滅するおそれのある種として、“レッドリスト”（1997年、環境省）に名を連ねた。イシカワガエル・コガタハナサキガエル・ダルマガエル・ハナサキガエル・アマミハナサキガエル・ナミエガエル・オットンガエル・ホルストガエルなどがそれである。

本書では、上記を含む日本産のカエル類5科39種の写真を収録。ほぼ実物大で写真ごとに産地・を明記しており、分かりやすい。ちなみに岡山県からは、先のダルマガエルが紹介されている。

解説は学名・分布図・記載（生物学の特徴）・二次性徴・卵・幼生・鳴き声・生態・声紋・分類など多岐にわたる。巻末に索引つき。「日本カエル図鑑」（1989年 文一総合出版）の改訂版。

子どもの頃、カエルで遊んだという向きも多いことだろう。童心に返って今一度カエルを眺めるのも一興。新たな発見があるかもしれない。



新着郷土資料紹介

「朝の読書」が学校を変える 岡山・落合町立
落合中学校「朝の読書」推進班編 高文研発行
2001 135円

ひょっとしたら100までも 大久保一治の随
筆 大久保一治著、発行 2001 41円

美作国真木山長福寺の寺宝 柳生尚志著 長福
寺発行 2001 39円

不受不施掃苔録 日蓮宗不受不施派研究所編、
発行 2001 412円

近世日本人は朝鮮をどうみていたか「鎖国」
のなかの「異人」たち 角川選書 330 倉地克
直著 角川書店発行 2001 253円

おかやま旅まっぷ 岡山観光地図 OKAYAMA
TRAVEL MAP 岡山県〔編〕発行 2001 1
枚

岡山県議会議員二期8年間のおゆみ 岡山県議
会定例会議一般質問録 阿部寿満子編集、発行

2001 207円

英語教育30年のあゆみ 平成13年3月 創立
から全英連岡山大会まで 大森啓作編・著、発行
2001 279円

遊歴算家と岡山の和算家たち 京山会主催講座
額田昭子〔著〕発行 2001 49円

命を与ふ 平成13年度岡山県立博物館特別展
図録 岡山県立博物館編集、発行 2001 71円

庭園のこころと形 世界名園シンポジウムから
シリーズ・実学の森 おかやま後楽園300年祭
実行委員会監修 東京農業大学出版会発行 2001
245円

倉敷 昭和から平成 4 内田練太郎著 平和
写真印刷（印刷） 2001 155円

津山藩の江戸屋敷 平成十三年度特別展 津山
郷土博物館特別展図録 第15冊 津山郷土博物
館〔編〕発行 2001 63円

遊神書道会展作品集 第37回記念 遊神書道
会編集、〔発行〕 2001 36円

新着外国語図書紹介

発展

**Crescent & star : Turkey between
two worlds**

(by Stephen Kinzer / Farrar, Straus
and Giroux / 2001)

何世紀にもわたり、トルコは西洋にとって、大
きな脅威であった。現在でも多くの人は、トルコ
をエキゾチックで魅惑的であると同時に、
抑圧的で、未開で、どことなく危険な国と感じて
いる。果たして、トルコは、世界初のイスラム教
民主主義国となりうるのか。

本書では、トルコ滞任経験の長いスティーブン
・キンザー氏が、現在のトルコについて詳細にレ
ポートし、トルコの近代国家への発展をたどって
いる。トルコが直面している大きなディレンマを
指摘しながらも、なぜ、トルコが21世紀の最も大
胆に成功をおさめた国家となりうるかを検証して
いる。

冷戦

Code to zero

(by Ken Follet / Macmillan / 2000)

イギリスのベストセラー作家、ケン
・フォレットの最新作である。今回の
作品の舞台は、1958年 冷戦のさなかで、宇宙
開発をめくり、アメリカがソビエトに追いつこう
としていた時期である。ソビエトがスプートニク
の発射に成功していたにもかかわらず、アメリカ
は人工衛星の1回目の打ち上げに失敗し、次なる
失敗は許されない状況にあった。



エクスペロアラー打ち上げチームの一員だった
ルークは、何者かにより記憶を消されてしまう。
それは、一体何を意味するのか。ついに打ち上げ
のカウント・ダウンが開始され、打ち上げを阻止
しようとする側と、そうはさせまいとする側の闘
いが始まった。CIAとKGBの暗躍も見事に描写さ
れていて、読みごたえのあるフィクションである。

絵本

**The wonderful wizard of Oz : A
commemorative pop-up**

(by L. Frank Baum / art by Robert
Sabuda / Little Simon / 2000)

ライマン・フランク・ボーム氏による「オズの
魔法使い」が出版されて100年になるのを記念し
て、ロバート・サブダ氏がまばゆいばかりに輝く
ポップアップ（開くと絵が飛び出す本）版の「オ
ズの魔法使い」を完成させた。それぞれのページ
に凝った仕掛けが施された見事な絵本に仕上が
っているので、絵を眺めてみるだけでも楽しい。英
文学の古典を子どもにも分かりやすく紹介できる、
遊び絵本である。

随想

特美廃止に思う

岡山大学教育学部教授 小川 尊一



先日「文化芸術振興基本法」を考えるシンポジウムが開催され、自分にとって、これほどNPOの存在が身近に感じたことはない。今、芸術文化に対し、社会がその行く末を一緒になって考えようとしている。シンポジウムに参加した人たちはおそらく新聞等で目にする以上に、文化と経済の総合政策の難しさを知らされたことと思う。

表現とは、生活する中で生きる力を生む根源的なもので、それを法律で定めたことに、むしろ“今ごろ急にどうして”と危惧する人も多いと思うが、要はこれを今後どれだけ多くの人が自分のものとしてとらえ、生活を豊かにしていく意識を高め、地域の団結を図るかにかかってくる。

さて、岡山大学教育学部には特別教科（美術・工芸）教員養成課程という、長たらしい名称の課程があり、昭和28年度から今日まで特美という愛称で存続してきた。これは発足当初の特設美術科という名称から由来してきたと思われるが、当初の目的の中に高校教員の養成と、芸術家養成の二つが混在していた。おそらく60年代後半の学園紛争を境に、だんだんと教員養成を目的とする学部本来の美術教育にウェイトが移動してきたと思われる。

そして少子化により教員採用率がほとんどなくなりつつある現在、芸術家養成を口にする人はいなくなったと言ってもいい。しかし、そうは言っても工芸科を専攻した者にとっては、教員採用はあまり馴染めず、そのデザイン力を生かして一般企業へ就職するのが大半であり、また、美術科を専攻した者にとっても、どうしても実技を伴う教科

であるだけに、実技に力が入り教員採用を軽視してしまう傾向にあった。ともあれ、バブル崩壊前の学生は一般就職であれ、教員採用であれ、自分のやりたいことが可能な方向で将来を決めることができたのである。それを証拠に現在、岡山県の中・高教員を見ると8割近くが特美出身であり、一般企業においても特美のネットワークを見ることが出来る。

平成11年度、特美課程は募集を停止し、平成14年3月、総合文化センターで最後の卒業制作展を迎え、同時に“特美の検証”を意味する特美OB展を開催、その歴史に終止符を打つことになる。

特美に代わるものとして、ゼロ免コースとしての総合教育課程の中に、情報教育、教育臨床と並んで生涯教育芸術分野が発足した。生涯教育基本科目をベースに音楽・美術・スポーツの融合を計ったものであるが、教科の枠をはずし、時代に沿った新領域の開発、及び学社融合にも目を向け、時代の流れに沿う新しい学問分野を模索しようとしている。特美生は元来生涯教育の意識が強くあったことから、すでに卒業生の中にボランティアに参加している者もいるが、その方面への進出もこれからどんどん増えていくことになるだろう。

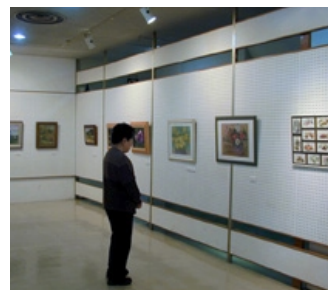
地域社会からの遊離を防ぐためにも、冒頭で述べたような市民と一緒に勉強していく地域のセンターとしての役割が、大学に、より一層重要になっていく。一人ひとりの人間の生き方、個人の生活の質や、それらを獲得するための潜在能力、自由が問題となる。これらの問題を学生あるいは地域の人々と共に考え、実践していくことが、今日の大学に求められている重要課題であり、今までの特美に代わる新しい方向として発展していくことになるのではないだろうか。

友の会作品展

平成13年度岡山県総合文化センター友の会作品展を2月19日(火)~24日(日)まで当館第1展示室準備室で開催し、6日間で485人の方の入場がありました。

会員の方より写真、日本画、洋画、パステル画、木工、俳句など28点、16人の方よりご出品いただきました。

また今回は作品の一つとして、会員の方が撮影された今年度の「友の会旅行」のビデオなども上映し、観賞された方々にも友の会活動へ興味を持っていただけたのではないかと思います。会員の皆様に厚く御礼申し上げます。



お知らせ

岡山県総合文化センター図書館は、図書整理のために平成14年3月31日(日)~4月14日(日)まで閉館します。大変御迷惑をおかけします。

4・5月の催物案内

ギャラリー

期間 (週)	第 1 展 示 室		第 2 展 示 室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
4/2 ┆ 4/7	請(あお)の会展 日本画50点 請の会 入場無料	第4回 龍翔会展 書35点 龍翔会 入場無料	第20回 墨光会展 書60点 墨光会 入場無料	第3回 翠彩会水墨画展 水墨画120点 翠彩会 入場無料
4/9 ┆ 4/14	第21回 日本画「叢(くさむら)の会」展 日本画100点 日本画叢の会 入場無料		第36回 大潮会岡山支部展・第10回 岡山支部小品展 大潮会岡山支部 洋画、支部展30点、小品展26点 入場無料	第38回 同好展 洋画・水墨画60点 岡山県勤労者絵画同好会 入場無料
4/16 ┆ 4/21	第35回 清流会書道展 書150点 清流書道会 入場無料	第20回 豊玉会創作展 木彫60点・木工33点・漆塗55点 豊玉会 入場無料	第30回 正筆会岡山地区展・第33回 正筆会菁華書作展 書170点 岡山正筆会 入場無料	
4/23 ┆ 4/28	第27回 白玲書道会展 書100点 白玲書道会 入場無料	第7回 写真家集団 群青写真展 写真等80点 写真家集団群青 一般300円、老・会員250円、小学生以下 無料	第39回 なぎさ会展 書120点 なぎさ会 入場無料	日本画春光会展 日本画55点 日本画春光会 入場無料
4/30 ┆ 5/5	第61回 創元展(巡回展) 洋画100点・水彩画15点・版画5点 (社)創元会 一般700円、学生500円、小・中学生・会員300円、老・障 無料			
5/7 ┆ 5/12	第31回 岡山光風会展 洋画50点 (社)光風会 岡山支部 一般600円、大学生400円、高校生以下・老・会員 無料		第40回 岡山平美展 絵画136点・書9点・写真19点・立体14点 他 岡山平和美術会 一般200円、高校生以下・老・障 無料	
5/14 ┆ 5/19	第33回 桂友会書展 書200点 桂友会 入場無料		第2回 ダネラ全国展 ダネラ工芸 日本ダネラ協会 入場無料	
5/21 ┆ 5/26	第56回 行動展(巡回展) 洋画120点・彫刻5点 中・四国(岡山)行動美術協会 一般600円、高校生400円、小・中学生・老 無料			
5/28 ┆ 6/2	第38回 遊神書道会展 書120点 遊神書道会 入場無料		第31回 独立書人団 岡山支部展 書50点 独立書人団 岡山支部 入場無料	笥影(じゅんえい)会写真展 写真84点 岡山市医師会写真同好会 入場無料

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。
会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員

ホール(固定席282席)

日 曜)	催 物	時 間	料 金	主 催 者
4/27(土)	「春だ! 鹿田だ! 新歓ライブ」	未 定	無 料	岡山大学鹿田軽音楽部
5/11(土)	第37回 文化センター合唱団 定期演奏会	18:30~20:00	無 料	岡山県総合文化センター
5/12(日)	民謡和楽発表会	10:30~15:30	無 料	民 謡 和 楽 会
5/16(木)	平成14年度(社)岡山県青少年育成 県民会議総会	13:00~16:30	無 料	(社)岡山県青少年 育成 県 民 会 議
5/18(土)	岡大軽音FOLK 就実おもちゃ箱 JOINT LIVE	13:00~16:00	未 定	岡大軽音フォーク部・ 就 実 お も ち ゃ 箱
5/24(金)	演劇公演『ラストシーンは奴に』	18:30~20:30	前:1,800円/当:2,300円	演 技 塾 ジ ャ ー ム
5/25(土)		13:00~15:00		
		18:30~20:30		
5/26(日)		13:00~15:00		

ホ-ルは、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。
使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。
平成14年度のホール抽選会は、6/3(12~2月)・9/2(3~5月)・12/2(6~8月)・3/3(9~11月)ですが、抽選済の期間で空きがあれば随時受け付けています。
使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限りです。
上記の催し物は、2月末現在申し込み済みのものです。
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(<http://www.libnet.pref.okayama.jp>)